

和風ポトフ とろーりチーズソース

寒い日に嬉しい! 体の芯から温まるあつあつの和風ポトフに簡単チーズソースを添えて召し上がれ。



〈材料〉4人分

玉ねぎ	200g
大根	100g
にんじん	60g
ブロッコリー	40g
ウインナー	4本
[A]	
だし汁	3~4カップ
塩	小さじ1/3
しょうゆ	小さじ1/2
みりん	大さじ1
[B]	
明治北海道十勝スマートチーズチェダーブレンド	6個
明治北海道十勝純乳脂	大さじ2
しょうゆ	小さじ1/3

作り方

1. 玉ねぎは、縦4等分のくし型に切ります。大根とにんじんは皮をむいてから5cmの長さに切り、縦に放射状に切ります(大根は太さに合わせて4~6等分、にんじんは4等分位にします)。ブロッコリーは小房に分けます。
2. 厚手の鍋に**[A]**とブロッコリー以外の**1**を入れ、沸騰したらウインナーを加え、蓋をして野菜が柔らかくなるまで煮込みます。ブロッコリーを加え、好みの固さになるまで更に煮込みます。
3. 耐熱容器に**[B]**を入れて600Wの電子レンジで**チーズが溶けるまで30秒ほど加熱**します。
4. 器に**2**を入れ、**3**を別容器で添えます。食べるときに好みの量をかけましょう。

このレシピで使用した商品



ワンポイントアドバイス

- ★ 野菜は、お好みのものを組み合わせてもよいでしょう。
- ★ ソースを作るときは、電子レンジによって加熱時間が異なるので様子を見ながら加熱してください。
- ★ 食べる前にソースが冷めて固くなったときは、再度、控えめに加熱してください。

このレシピはスマートフォンからもご覧いただけます。



明治の食育 レシピはこちら

明治の食育 おすすめレシピ

検索



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



株主のみなさまへ

第13期 中間報告書

2021年4月1日~2021年9月30日

証券コード: 2269

健康にアイデアを

meiji



明治ホールディングス株式会社

株主のみなさまへ



代表取締役社長 CEO 川村 和夫

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは「2023中期経営計画」の初年度を迎え、基本コンセプト「明治ROESG**経営の実践」に基づき、利益成長とサステナビリティ活動の同時実現に向けた取り組みを開始しました。

重点課題は以下のとおりです。

1. 事業戦略

- (食品セグメント) (1) コア事業の成長力の回復
- (2) 海外展開の強化
- (医薬品セグメント) (1) ワクチン事業の強化
- (2) 受託製造/受託製造開発 (CMO/CDMO) 事業の強化
- (グループ全体) 新領域への挑戦

- 2. ROICの活用による経営管理体制強化
- 3. 成長投資の継続と強固な財務基盤構築の両立
- 4. サステナビリティ2026ビジョンの着実な実行

2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済や国内消費動向への影響が続くものと考えられます。

食品セグメントでは、国内において消費者の健康や栄養に対する意識が変化の中で生まれる新たな需要を確実に捉えていきます。海外では引き続き中国における生産販売能力を強化し、次の成長の柱となる事業を育成します。

医薬品セグメントでは、ヒト用ワクチン事業の強化と海外事業の

伸長に取り組んでいます。国内における薬価改定の影響をカバーすべく、当社グループが持つ感染症に関する高い技術・設備や豊富な経験を活用し、外部の研究機関と協力の上、新型コロナウイルス感染症の不活化ワクチン開発と生産体制の整備を進めています。また、感染症領域のトップメーカーとして、事業基盤の強化と新薬の創出に向けて経営資源を集中するため、構造改革を推進しています。2021年9月には、当社の持分法適用関連子会社であるDM Bio Limitedの株式全部を東亜ソシオグループに譲渡しました。2022年1月には、農薬製造販売事業を三井化学アグロ株式会社に譲渡する予定です。加えて、2022年4月には明治アニマルヘルス株式会社を設立し、動物薬事業と動物用ワクチン事業を統合する予定です。

当第2四半期連結累計期間の売上高は 5,007億12百万円(前年同期比 14.4%減)、営業利益は 503億30百万円(同 0.1%減)、経常利益は 517億98百万円(同 2.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 366億46百万円(同 27.5%増)となりました。

なお、2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用したため、当期の実績値は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。参考として、前年同期の売上高にも当該会計基準等を適用した場合、売上高の前年同期比は 1.5%増となります。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの開発・供給の取り組みを次のとおり進めています。

当社の事業子会社であるKMバイオロジクス株式会社では、新型コロナウイルス感染症に対する不活化ワクチンの開発を進めています。2020年9月には非臨床試験を開始し、2021年3月より国内第1/2相臨床試験、同年10月より第2/3相臨床試験を開始しました。加えて、この不活化ワクチンを国内に早期供給すべく、生産に必要な設備の整備も進めています。

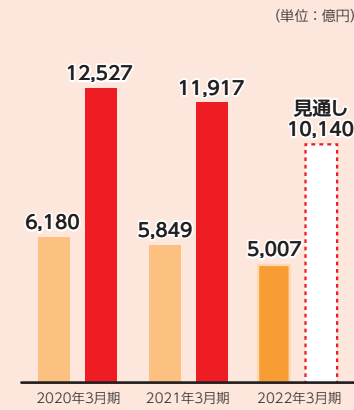
2020年6月に、当社の事業子会社であるMeiji Seika ファルマ株式会社とKMバイオロジクス株式会社は、アストラゼネカ株式会社が日本へ導入する新型コロナウイルスワクチンについて、国内安定供給に向けた協議を進めることに合意しました。2021年3月には、KMバイオロジクス株式会社はアストラゼネカ株式会社から供給された原液の製剤化を開始し、同年8月からは、Meiji Seika ファルマ株式会社が同ワクチンの保管・配送・安全性情報収集の業務を開始しました。

なお、当期の中間配当金については、1株当たり金80円とさせていただきます。

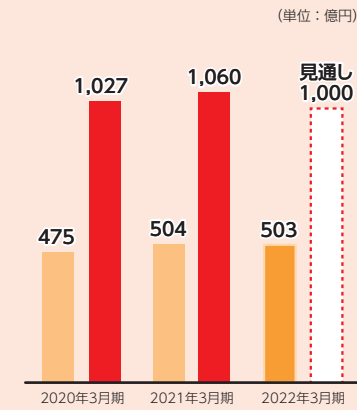
株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

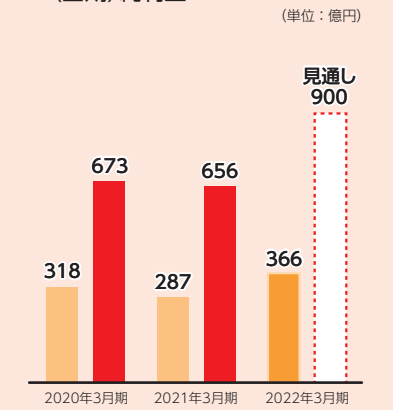
売上高



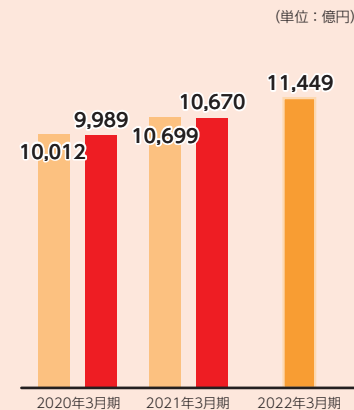
営業利益



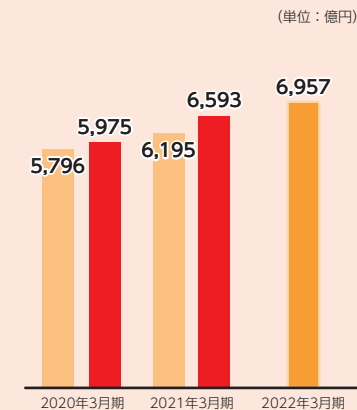
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



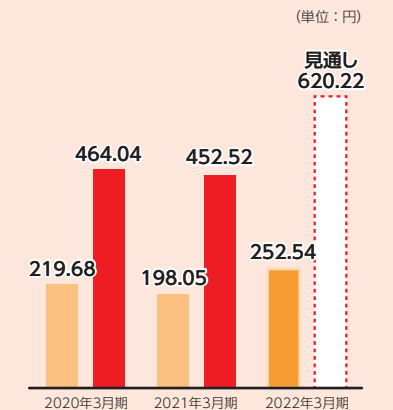
総資産



純資産



1株当たり四半期(当期)純利益



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。また、2021年3月期において、2020年3月期に実施した企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した数値を記載しております。

第2四半期 ■ 通期 ■

**「ROESG」は一橋大学・伊藤邦雄氏が開発した経営指標で、同氏の商標です。

セグメント別概況のご報告

食品セグメント (株式会社 明治)



(注)2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用したため、当期の実績値は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。参考として、2021年3月期第2四半期累計の売上高にも当該会計基準等を適用した場合、2022年3月期第2四半期累計の売上高対前年同期増減率は0.2%減となります。

売上高は、「収益認識に関する会計基準」等を適用した影響により、前年同期を大幅に下回りました。当該会計基準等を適用する前の売上高の比較では、業務用食品事業、海外事業は前年同期を大幅に上回り、ニュートリション事業やチョコレート・グミ事業、その他・国内子会社は前年同期を上回りました。前年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の反動などにより、ヨーグルト・チーズ事業や牛乳事業、フローズン・調理食品事業は前年同期を下回りました。

営業利益は、販促費などのコストコントロールに努めましたが、原材料コスト増に加え、ヨーグルト・チーズ事業の減収の影響をカバーしきれず、前年同期を下回りました。

<h3>ヨーグルト・チーズ事業</h3>	<h3>ニュートリション事業</h3>	<h3>チョコレート・グミ事業</h3>	<h3>牛乳事業</h3>
<h3>業務用食品事業</h3>	<h3>フローズン・調理食品事業</h3>	<h3>海外事業</h3>	

2022年3月期からセグメント下の事業区分を変更しました。詳細はQRコードからアクセスいただき、決算短信 補足説明資料のP11をご覧ください。



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ヨーグルト・チーズ事業

- 売上高は前年同期を下回りました。体調管理意識の高まりや巣ごもり消費で好調に推移した前年の反動などにより、プロバイオティクスは大幅な減収となりました。またヨーグルトやチーズも減収となりました。
- 営業利益は、コストコントロールに努めましたが、減収の影響により前年同期を大幅に下回りました。

ニュートリション事業

- 売上高は前年同期を上回りました。乳幼児ミルクは減収となりましたが、スポーツプロテイン「ザバス」は、運動不足解消ニーズの高まりや顧客層の拡大により大幅な増収となり、流動食「明治メイバランス」も好調に推移しました。
- 営業利益は、販促費や減価償却費などが増加しましたが、増収により前年同期を大幅に上回りました。

チョコレート・グミ事業

- 売上高は前年同期を上回りました。健康志向チョコレートは大袋を中心に好調に推移しました。また、前年に通勤・通学時やオフィスでの需要減少で苦戦していたグミは前年同期を大幅に上回りました。
- 営業利益は、減価償却費などが増加しましたが、増収により前年同期を大幅に上回りました。

牛乳事業

- 売上高は前年同期を下回りました。巣ごもり消費で好調に推移した前年の反動に加え、品目数削減の影響などにより減収となりました。
- 営業利益は前年同期より改善しました。減収の影響を販促費や生産体制の見直しによる経費削減によってカバーしました。

セグメント別概況のご報告

業務用食品事業

- 売上高は前年同期を大幅に上回りました。外出自粛の影響で需要減となった前年の反動で、業務用クリーム、業務用乳製品が大幅な増収となりました。
- 営業利益は、増収の影響により前年同期を大幅に上回りました。

海外事業

- 売上高は前年同期を大幅に上回りました。中国子会社は大幅な増収、米国子会社も増収となりました。新規連結の子会社が2社増えたことも寄与しました。
- 営業利益は、中国事業強化のため人件費やマーケティング費用が増加したことから、前年同期を大幅に下回りました。

フローズン・調理食品事業

- 売上高は前年同期を下回りました。前年の家庭内需要の反動により、デイリーファット(バター、マーガリン等)が減収となりました。また、前年反動に加えて、天候不順の影響を受けたアイスクリームも減収となりました。
- 営業利益は、コストコントロールに努めましたが、減収の影響により前年同期を大幅に下回りました。

その他・国内子会社

- 売上高は、物流子会社1社が株式譲渡により連結対象子会社から除外された影響がありましたが、糖類を取り扱う商社や飼糧子会社などの増収により、全体では前年同期を上回りました。
- 営業利益は、物流子会社や飼糧子会社などの増益により前年同期を大幅に上回りました。

トピックス

「株主優待品寄贈選択制度」実施のご報告

当社では、株主さまのご意志により優待品の送付に代えて同等品を福祉団体等へ寄贈する「株主優待品寄贈選択制度」を設けております。この制度にご賛同いただきました株主さまのお気持ちと、優待品を、当社の気持ちとあわせて福祉団体等へ寄贈させていただいております。今年度は、東日本大震災をはじめとする各被災地復興支援団体および全国の障がいのある児童の支援団体等への寄贈を、認定特定非営利活動法人日本NPOセンターを通じて実施いたしました。

■ 今年度実績

寄贈にご賛同いただきました株主さま：2,318名

株主さまから寄贈いただきました相当金額：726万7,000円

※当社からもほぼ同額相当分を寄贈し、合計1,454万円相当分の当社グループ製品の寄贈をしております。

■ 取材レポート

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、会社よりオンラインでお話をお伺いしました。コロナ禍での活動はご苦労が様々あると思いますが、明るく元気に活動状況をお話いただきました。コロナにも豪雨にも負けずに豊富なアイデアを上手に使われて、楽しみながら活動されている様子が大変印象的でした。詳しくは、当社ホームページにてご報告いたします。



オンライン取材の様子



社会福祉法人佐賀整肢学園からつ医療福祉センター
児童発達支援センターまつぼっくり教室
(佐賀県唐津市)



一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校
(岩手県釜石市)



特定非営利活動法人にこっと秋田
多機能型重症児者デイサービスにのこ
(秋田県秋田市)



特定非営利活動法人かぞくの家 さくら
(広島県広島市)

ご賛同いただきました株主のみなさまのお気持ちに、心より感謝申し上げます。

当社の株主優待品寄贈について詳しくは

明治 株主優待寄贈

検索

株主優待制度

当社では、毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主さまに対し、ご所有株式数に応じて、明治グループ製品詰合せを毎年10月末ごろにお届けしております。

100株以上	2,000円相当の明治グループ製品詰合せ
500株以上	3,500円相当の明治グループ製品詰合せ
1,000株以上	5,000円相当の明治グループ製品詰合せ



3,500円相当の優待品の例です。
(実際の優待品と異なる場合があります。)

セグメント別概況のご報告

医薬品セグメント (Meiji Seika ファルマ株式会社 / KMバイオロジクス株式会社)



(注)2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用したため、当期の実績値は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。参考として、2021年3月期第2四半期累計の売上高にも当該会計基準等を適用した場合、2022年3月期第2四半期累計の売上高対前年同期増減率は9.2%増となります。

売上高は前年同期を上回りました。「収益認識に関する会計基準」等を適用する前の売上高の比較では、ヒト用ワクチン事業、農薬・動物薬事業は前年同期を大幅に上回り、国内医薬品事業は前年同期を上回りました。海外医薬品事業は前年同期を下回りました。

営業利益は、国内医薬品事業とヒト用ワクチン事業が大幅な増益となったことで、前年同期を大幅に上回りました。

国内医薬品事業



海外医薬品事業

ヒト用ワクチン事業

農薬・動物薬事業



国内医薬品事業

■売上高は、前年に新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関受診患者数減少の影響を受けた抗菌薬「メイアクト」が増収となったことに加え、アストラゼネカ社の新型コロナウイルスワクチンの保管・配送・安全性情報収集に関する受託収入が発生したことから、前年同期を上回りました。

■営業利益は、薬価改定の影響を受けましたが、増収の影響により前年同期を大幅に上回りました。

海外医薬品事業

■売上高は前年同期を下回りました。インドの子会社は受託製造事業が好調に推移し、増収となりましたが、スペインやインドネシア、中国の子会社は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収となりました。

■営業利益は、一部子会社減収の影響などにより、前年同期を大幅に下回りました。

ヒト用ワクチン事業

■売上高は前年同期を大幅に上回りました。アストラゼネカ社の新型コロナウイルスワクチン製剤化に関する受託収入が発生したことに加え、インフルエンザワクチンが増収となったことが寄与しました。

■営業利益は、増収の影響により前年同期を大幅に上回りました。

農薬・動物薬事業

■売上高は前年同期を大幅に上回りました。いもち病防除剤「オリゼメート」の供給が再開し増収となりました。

■営業利益は、原価の上昇により前年同期を下回りました。

(注)2022年1月には、農薬製造販売事業を三井化学アグロ株式会社に譲渡する予定です。また、2022年4月には明治アニマルヘルス株式会社を設立し、動物薬事業と動物用ワクチン事業を統合する予定です。

「統合報告書2021」を発行しました



統合報告書は、毎年の業績などの財務情報に経営方針やサステナビリティ活動などの非財務情報を加えて、企業の長期的な展望を示した報告書です。明治グループでは、2018年より統合報告書を編集・発行しています。

2021年9月に発行した「統合報告書2021」では、新スローガンである「健康にアイデアを」に込めた想いや「2023中期経営計画」の考え方を、各チーフオフィサーや社外役員からのメッセージとともに紹介しています。また、価値創造プロセスやバリューチェーンなど、各コンテンツにおいて事業戦略とサステナビリティの取り組みを1つのストーリーとして示すよう工夫しました。

このほか健康価値創造の歴史やガバナンスなど、株主のみなさまの関心の高い情報が掲載されています。みなさま、ぜひご覧ください！



<https://www.meiji.com/investor/library/integratedreports/>

株主さま向けオンラインセミナーを開催しました

2021年3月31日現在の株主のみなさまを対象に、7月21日に初となるオンラインセミナーを開催しました。第一部では明治グループの成長戦略について説明し、第二部では「未来のための栄養改革」と題した健康セミナーを実施しました。

今後もみなさまに明治グループをより理解していただけるようなイベントを企画してまいります。当報告書やホームページでご案内しますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

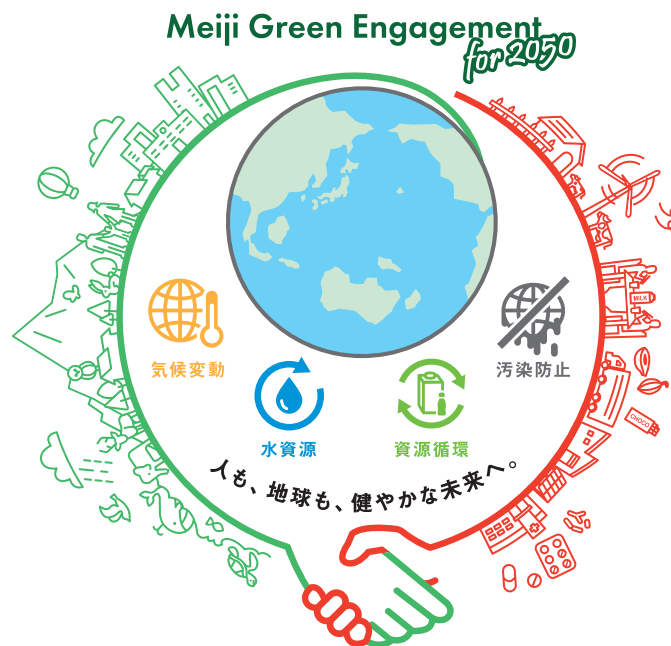


スピーカー(右から)
 ・明治ホールディングス株式会社
 取締役 専務執行役員 CSO 古田
 ・株式会社 明治 広報部 矢菅

明治グループ長期環境ビジョン Meiji Green Engagement for 2050

人も、地球も、健やかな未来へ。

明治グループの事業は、生乳やカカオや乳酸菌、抗生物質に代表される微生物などの豊かな自然の恵みの上に成り立っており、自然と共生していくことは企業の責務と考えています。そこで「将来にわたって自然との共生を図るために、企業活動に伴う環境負荷の最小化」をコンセプトに長期環境ビジョンを策定しました。本ビジョンのもと、地球環境とのエンゲージメントを通じて自然との共生を目指します。



キービジュアル
 健全な状態の地球を中心に置いて、左側の緑色部分で理想とする生態系の状態を、右側の赤色部分で明治グループの事業活動を表現しています。

4つの活動ドメインと2050年目標

- 気候変動**
 - カーボンニュートラルの実現
 - サプライチェーン全体でCO₂などの温室効果ガス排出量を実質ゼロに
 - 本社拠点における総使用電力に占める再生可能エネルギー比率100%を達成
- 水資源**
 - 限りある資源である水の持続的な利用の実現
 - 本社拠点での水使用量の原単位を2017年度比で半減
 - 製品原料として使用する水を100%還元(ウォーターニュートラル)
 - 本社拠点の立地地域や原料調達地域での水リスクの解決に取り組む
- 資源循環**
 - サーキュラーエコノミーへの移行
 - 製造工程での廃棄物のゼロエミッションを実現
 - 再生材などを活用し容器包装に使用する新たな自然資本最小化を実現
- 汚染防止**
 - 事業活動由来の環境汚染ゼロへ
 - 事業活動由来の化学物質による環境汚染ゼロを目指す
 - サプライチェーン全体における環境汚染の課題解決に取り組む

新製品のご紹介

明治スキンケアヨーグルト 素肌のミカタ

SC-2乳酸菌、コラーゲンペプチド、スフィンゴミエリンを使用し、おいしく手軽に飲むことで、紫外線刺激から肌を守り、肌の潤いを保つことを助ける機能性表示食品です。



明治ブルガリアヨーグルト 脂肪0 水切り濃縮プレーン

そのまま食べたり、料理に使ったり。水切りヨーグルトを手間なく楽しめます。フルーツソース乗せは、水切りヨーグルトの食べ方提案として、デザート感覚で楽しめます。



明治Yurumilt

たっぷりのミルク感を味わえるのむヨーグルトです。ひと息つきたいときに飲むことで、ミルクの優しさにまるで心が包み込まれるような安らぎを感じるすることができます。



ザバスMILK PROTEIN 脂肪0 ヨーグルト バナナ風味

プロテイン市場No.1ブランド「ザバス」の食べるヨーグルトです。手軽さが朝食シーンに最適です。運動する方の食生活、理想のカラダづくりをサポートします。



明治TANPACK アップル/ピーチミックス

1本に乳たんぱく質4.5gを配合し、果汁のおいしさをそのままに、おいしく・かしくたんぱく質を補給することができます。



オリゴスマート ナッティークラッシュ

使用する砂糖の半分を「糖として吸収されない」フラクトオリゴ糖に置き換えたミルクチョコに食感の楽しいクラッシュしたアーモンドとマカダミアを合わせました。



メルティーキッス プレミアムショコラ

本年は新たな配合でカカオの香りと味わいがアップしました。ミルクとカカオが織りなすクリーミーでコクのある、濃厚な味わいと雪のようなくちどけを楽しめます。



お口のミカタ Gum レモン/マスカット

マスク生活におけるお口の中の不快感や、仕事でのリフレッシュにぴったりの小粒タイプの Gum。持ち運びにも便利なサイズです。



明治ステップ らくらくミルク 240ml

1〜3歳ごろの幼児期の発育に大切で、かつ不足しがちな栄養をまとめて摂ることができる幼児用液体ミルクです。



ザバス for Woman ホエイプロテイン100 ミルクショコラ風味 14食分

女性の理想のカラダづくりを考えた粉末プロテインです。たんぱく質として吸収のよいホエイプロテインに加え、10種ビタミン、3種のミネラルと食物繊維を配合しています。



(ザバス for Woman) MILK PROTEIN脂肪0+SOY ミルクティー風味

カラダづくりに有効なミルクプロテインと引き締めたいカラダづくりをサポートするソイプロテインに加え、さらに健康美容をサポートするコラーゲンを配合しています。



オリゴスマート カフェオレ/ココア

ミルクをたっぷり使用し、砂糖の一部を「糖として吸収されない」フラクトオリゴ糖に置き換えた、糖から健康を考えた甘くておいしいカフェオレ/ココアです。



明治TANPACK バナナ&チョコレート アイスバー

たんぱく質の優等生である乳たんぱく質を1本あたり5g配合し、定番のバナナとチョコを組合せた、おいしく・手軽にたんぱく質を摂取できるアイスです。



明治オフスタイル/ 明治オフスタイルペに花

おなかの調子が気になる方に向けて、1日20gをいつものパンにのめるだけでいつものおいしさのまま、脂肪分・カロリーも控えめな商品です。



新型コロナウイルス 抗原迅速検査キット 「チェックMR-COV19」

新型コロナウイルスの抗原検査キットで、鼻咽頭ぬぐい液または鼻腔ぬぐい液で検査し、15分(陽性的場合3〜15分)でウイルス感染の有無を判定できます。9月から薬局での販売が開始されました。



抗悪性腫瘍剤 「ハイヤスタ®錠」

Meiji Seika ファルマ(株)で成長領域としている血液がん領域の薬剤です。再発または難治性の成人T細胞白血病リンパ腫に効果を示す経口剤です。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,328	84,041
受取手形及び売掛金	177,730	185,680
商品及び製品	117,445	119,639
仕掛品	4,054	3,850
原材料及び貯蔵品	60,488	63,053
その他	28,353	26,770
貸倒引当金	△2,347	△2,343
流動資産合計	426,053	480,694
固定資産		
有形固定資産	454,994	476,424
無形固定資産	15,992	16,829
投資その他の資産	169,959	171,031
固定資産合計	640,946	664,285
資産合計	1,067,000	1,144,979

負債の部		
流動負債	253,011	293,983
固定負債	154,630	155,292
負債合計	407,642	449,276
純資産の部		
株主資本	597,282	623,509
その他の包括利益累計額	24,145	33,755
非支配株主持分	37,930	38,438
純資産合計	659,358	695,703
負債純資産合計	1,067,000	1,144,979

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	584,976	500,712
売上原価	368,381	336,378
売上総利益	216,594	164,334
販売費及び一般管理費	166,192	114,004
営業利益	50,401	50,330
営業外収益	2,170	3,527
営業外費用	1,916	2,059
経常利益	50,655	51,798
特別利益	1,026	5,440
特別損失	4,523	1,997
税金等調整前四半期純利益	47,158	55,241
法人税等	16,372	15,234
四半期純利益	30,785	40,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,052	3,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,733	36,646

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,823	61,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,331	△35,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,852	14,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△616	1,626
現金及び現金同等物の増減額	24,728	41,847
現金及び現金同等物の期首残高	37,110	39,011
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	16
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,839	80,876

会社概要 / 株式の状況 (2021年9月30日現在)

◆ 会社概要

商号	明治ホールディングス株式会社 (英文名: Meiji Holdings Co., Ltd.)
事業内容	食品、薬品等の製造、販売等を行う子会社等の経営管理 およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
設立	2009年4月1日
資本金	300億円

◆ 役員紹介 (2021年10月1日現在)

代表取締役社長 CEO	川村 和夫	兼務 (株)明治 取締役 兼務 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役
取締役執行役員 COO(医薬品セグメント)	小林 大吉郎	兼務 Meiji Seika ファルマ(株) 代表取締役社長 兼務 KM/バイオロジクス(株) 代表取締役会長
取締役執行役員 COO(食品セグメント)	松田 克也	兼務 (株)明治 代表取締役社長
取締役専務執行役員 CFO	塩崎 浩一郎	兼務 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役 兼務 KM/バイオロジクス(株) 取締役
取締役専務執行役員 CSO	古田 純	兼務 (株)明治 取締役
取締役 (社外)	松村 真理子	
取締役 (社外)	河田 正也	
取締役 (社外)	久保山 路子	
執行役員	谷口 茂	兼務 (株)明治 常務執行役員
執行役員	松岡 伸次	兼務 (株)明治 執行役員
執行役員	松本 有平	
監査役 (常勤)	千田 広秋	
監査役 (常勤)	大野 高敬	
監査役 (社外)	渡邊 肇	
監査役 (社外)	安藤 まこと	

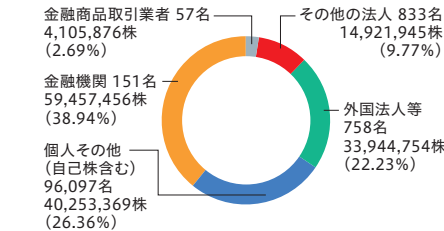
◆ 株式の状況

発行可能株式総数
560,000,000株

発行済株式の総数
152,683,400株

株主数
97,896名
(自社含む)

◆ 所有者別



◆ 大株主

(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,282	15.25
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	7,098	4.65
日本生命保険相互会社	3,348	2.19
株式会社みずほ銀行	3,117	2.04
農林中央金庫	2,892	1.89
明治ホールディングス取引先持株会	2,665	1.75
明治ホールディングス従業員持株会	2,631	1.72
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	2,451	1.61
株式会社りそな銀行	2,117	1.39
日本甜菜製糖株式会社	1,758	1.15

(注)上記の他に、当社が7,547千株(持株比率4.94%)保有しております。

◆ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日 定時株主総会3月31日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.meiji.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)
1.株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。